

# ケアマネ通信おびひろ

平成 24 年 12 月 25 日発行

帯広市介護支援専門員連絡協議会

発行責任：佐藤篤史

## 第38号

### 【目次】

- 1、災害机上訓練レポート（帯広市障害福祉課・中山弥生さん）
- 2、ケアマネジャー実践セミナーレポート（居宅介護支援事業所はるか・佐藤勇宏さん）
- 3、帯広ケアマネ連協・第二回学習会レポート（ツクイ帯広西・鬼塚亜美さん）
- 4、帯広ケアマネ連協・第一回研修レポート（居宅介護支援事業所ふぁ〜すと・芳野光一さん）
- 5、帯広ケアマネ連協・交流会レポート（地域包括支援センター愛仁園・東哲慎さん）
- 7、癒しのオフタイム（アースサポート帯広・楠田理恵さん）
- 8、ケアマネの輪（居宅介護支援事業所・島崎幸子さん）

## 災害机上訓練に参加して

帯広市保健福祉部障害福祉課 中山 弥生

平成24年10月27日、帯広市保健福祉センターの多目的ホールで研修会があり、参加させていただきました。参加者約70名が居宅、施設、包括、調剤薬局、サービス事業所、ケアマネ連協、自治体と7つのグループに分かれ、震度6強の十勝沖直下地震が小雨の低温の状況で発生したという設定でした。

フェイズⅠ（発災直後～10時間）、フェイズⅡ（発災1～3日）、フェイズⅢ（発災4日～1か月）と三段階に分け、各段階の「目標」、「阻害因子」、「促進要因」を考えて行きました。

私は自治体グループで各段階に出来ることを真剣に考えましたが、市役所の備品の備蓄状況、災害時の各課の役割などシミュレーションが全く出来ない自分に気がつきました。また、他のグループから多くの質問をいただき、災害時の市民の方の困りごとや市役所の役割が解る良い機会になりました。参加者の皆様からは、利用者様の避難場所が分からない等の意見がありましたので、緊急時連絡カード（高齢者用／障害者用）などもご活用いただくと良いと思いました。

今後も、継続的な訓練が必要だと感じました。役員の皆様、貴重な研修会の開催ありがとうございました。



地域ケア会議の様子です。



各グループで話し合っている様子です。

# ケアマネ実践セミナーレポート

居宅介護支援事業所はるか 佐藤 勇宏

平成24年9月15日、北海道介護支援専門員協会主催のケアマネ実践セミナーへ参加させていただきました。講演1の前厚生労働省老健局長宮島氏の「地域包括ケアと介護支援専門員」という題では地域包括ケアの視点や考え方の話がありましたが、その中で介護が今後求められることとして、基礎的医療の知識とリハビリであるということと、他職種共同の基盤は介護であるということを強調されており、また、ケアマネの資質に関していろいろな意見はあるが、ケアプランが自立支援にむけての内容になっているかという視点が全てではないかということで、今後はケアマネ同士で議論をしながら、中身をよいものにしていくことがケアマネに求められているという話を聞き、改めて専門職として、ケアマネがみんなで力を合わせながら利用者の自立支援に向けたより良いケアプランを考えていく必要性を感じました。

次の講演2「介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する調査研究より見えてくるもの」という題では、宮島氏同様、ケアプランは他職種共同の基盤となるものなので、他職種から見て、内容が理解できるものか、情報共有に資するものかという視点が必要であるということ。また、アセスメント・評価の重要性については、ケアマネがアセスメントするうえで必要な情報が集まらずに苦労しているというデータがあったが、アセスメントをケアマネが全て行うのではなく、チームで考えていく必要があるのではないか。アセスメントの段階から他職種からの情報収集が重要であること。アセスメントが不十分な原因はケアマネの知識・技術だけでなく、必要な情報が届かないことが原因の一つではないかとの話があった。評価に関しても、個別事業所からの評価をきちんと確認したうえで、ケアマネが頭の中で考えていることをきちんとケアプランを通じて伝え、情報共有していく必要性を話されていました。

今後の制度改正でケアプラン様式の変更が取りざたされているが、まだ未定ながらも1・5表「課題整理表」「サービス種別ごとの評価表」という様式が検討されていることも知りました。

今回の研修に参加させて頂き、今、ケアマネに求められていることをしっかりと受け止め、これからの仕事にいかしていきたいと感じました。貴重な講演を聞く機会を作って頂き、本当にありがとうございました。



# 第二回学習会感想

ツクイ帯広西 鬼塚亜美

平成24年10月17日（水）、「事例検討会」をテーマにした学習会に参加しました事例紹介があり、そこから事例提供者への質問事項を個人で考え記入し、その後グループで話し合いそのグループで質問する事項を一つに絞っていくという形式で行われました。事例の方の支援をするにあたり、どの部分を確認し整理していくかということをグループで話し合っていく作業の中で、いろんな意見が出て「そういう考えもあるのか」と自分では思いつかなかったことに気づくこともでき、有意義な時間となりました。

経験と知識の足りない私にとっては、このような学習会を企画していただくのは嬉しいことです。その人の支援をどうしていくか悩んだり、間違った方向に向かっていたり、その間違いに気づいていなかったり、自分の業務の中には危険がいっぱいです・・・。

「気づき」のきっかけになる学習会に今後も参加していきたいです。（事例提供者の岡本さんと司会の東さん★→）



## 第一回研修会『対人援助技術と認知症について』

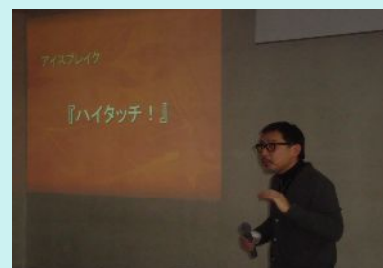
指定居宅介護支援事業所ふぁ～すと 芳野 光一

平成24年11月17日（土）14:00～17:00、グリーンプラザにて第1回研修会「対人援助技術と認知症について～支援の視点が変わる7つの贈り物」と題し、伊達市グループホームアウル総合施設長の宮崎直人氏を講師に講演頂きました。会場には会員・非会員合わせて61名の参加があり、大変有意義な時間を過ごす事ができました。

今回の講演では、途中隣の方と「ハイタッチ」によるコミュニケーションや自己紹介等実践を交えながら、笑いあり最後には涙ありと宮崎氏の話にあっという間の3時間でした。

当日のアンケート結果から、「話がとてもわかりやすく、話に引き込まれた」「ケアマネジャーとしてではなく、人として日頃から自分の態度を見直そうと思った」「心に響く講演で感動した」という感想が多かったです。

今回の講義で私が宮崎氏の話の中から印象に残った事として、①「認知症の人」と捉えるのではなく、「認知症」と「人」という考え方が大切である事、②「期待は人間関係をダメにする」③「コミュニケーションとはそこにあるもので、存在そのものが支援である」という以上3点を挙げたいと思います。現時点での自分自身の課題が明確となり、これからも、様々な職種の方々と連携を図りながら、利用者の方から必要とされる介護支援専門員を目指し研鑽を積んでいきたいと思います。今年度の研修部の活動は、来年2月27日の学習会を残すのみとなりました。多くの方に参加頂けるような学習会等を企画していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。



# 平成24年度交流『第二回ケアマネ大運動会』

地域包括支援センター愛仁園

東 哲慎

かつて、一世を風靡した「ドキッ！丸ごと水着 女だらけの水泳大会」（1988～2003）という番組があった。

簡単に言えば水着を着たアイドルたちがプールで運動会をするというような企画で、ブラウン管の中から異様な熱気が伝わってくる夢のある番組であった。今回のケアマネだらけの大運動会もあの熱気を再現するかのような異様な盛り上がりを見せていた。いや、すでにあの伝説的企画を凌駕しているのかもしれない…。

さて、大運動会は居宅白樺＝浅野健太朗氏の極めて正しい選手宣誓で幕を開けた。その後、極めて正しいラジオ体操、さらに極めて正しいクイズ大会へと続いていったが、この極めて正しいづくしに場内は大混乱に陥ったのだった。そして参加者たちを極めて正しい蛍光灯の光が照らす。私自身もクイズに備え、藤沢周平の「隠し剣」シリーズや、おならぶー太先生の「日本唯一のジャズ漫画 ジャズ爺」を夜な夜な読み返したりしたが徒労に終わった。なにせ設問が、中学入試やケアマネ試験からの抜粋が多く、これではまるで歯が立たない。来年はロックンロールの歴史やマイルスデイビスの名言、正しい焚き火の起こし方とか、プロ野球選手名鑑からの出題とかを期待したい。

途中でスペシャルゲストのアントニオ猪木氏が乱入。思ったより小さかった。例えて言えば、今年のゲスト斉藤佑樹投手くらい大きさであった。



そんなこんなで、あっという間に時間が過ぎ表彰式となった。

我がチームはなんと奇跡の大逆転優勝！今年のファイターズのようなチームプレイが功を奏した奏したのだと思う。優勝チームには副賞としてカニが贈られると聞いていたせいか、チームメイト全員横歩きで表彰台へと向かう。副賞はカニではなかったが感慨ひとしおであった。

その後、会場を移して懇親会へと突入。恒例の景品争奪じゃんけん大会ではふぁ～すと＝芳野光一氏がまさかの裏切りでレディ二人を出し抜き優勝。力づくで景品をゲットするという蛮行に及んだ。これにはすかさず開西病院野球チーム＝ブルータートルズ監督 安田裕貴氏が「芳野氏はファーストからライトにコンバートだ！」と電撃発表。今後、ふぁ～すと＝芳野はライト＝芳野となった。お間違えのないように。

というわけで熱い冬の夜はすぎていったのだった。（皆さん、お疲れ様でした）

**今日の川柳：暗いなら 電気があれば なんでもできる** （字余り）アントニオ猪木川

柳より



# 癒しのオフタイム～趣味のコーナー～

アースサポート帯広 楠田 理枝

はじめまして!今年の5月よりアースサポート帯広で無謀ながら初心者・一人ケアマネをしている楠田です。今回は私の家族の紹介をしたいと思います。

夫・一浩(50歳):21歳の時に私が一目惚れをして追い掛け回しものにしました。この夫が曲者で、短ばらで我儘で若い時は気に入らない事が有ると食事が乗っているテーブルをひっくり返したり、夜中に子供が泣いているとうるさいから捨てて来い!なんて言う夫で何度泣かされた事か・・・。

やくざの様に怖い夫ですが、でもたまに優しく、私はなぜかずーっと大好きなんです。

長女・星来(25歳)今年籍を入れ来年ハワイで結婚式をする予定です。今はニチイケアセンター帯広東でデイサービスの相談員をしています。この子は優しくて頭が良くてとても良い子に育ちました。

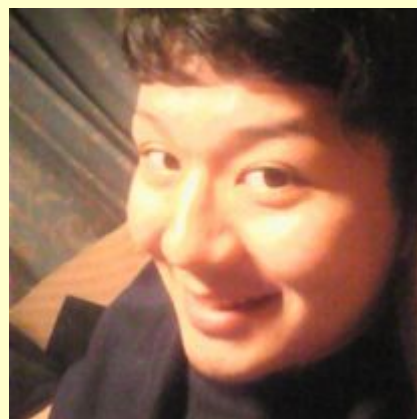
長男・祥平(23歳):高校の時に停学になったり親が学校に呼ばれたり一番心配した子です。仕事も続かず家事手伝いをしていてどうなるのかな?と置いていましたが今年室蘭の看護学校に合格し来年より看護師になるための学校に通う事になりました。3年後国家試験に合格するか心配ですが応援したいと思います。

次女・優月(高2):引っ込み思案でなかなか友達を作れず学校をやめてしまうのでは・・・と心配していましたが何とか友達も出来一安心。今は毎朝一重の目を糊で二重にして学校へ行ってます。

次男・祐斗(中2):小3よりバスケを始めバスケにのめり込んでいます。お兄ちゃんが風邪をひいた時には「お兄ちゃんが作ったご飯は食べないうつつたらバスケが出来なくなる」と心配するような子です。末っ子なので甘えん坊です。

姑・夏江(75歳):韓国ドラマが大好きで仕事から帰るとその日やっていた韓国ドラマのあらすじを事細かに教えてくれます。でもごちゃごちゃになっていて2つのドラマが混ざって教えてくれたりで良く解りません・・・。要介護1でくるの小澤さんにお世話になっています。

本人・理枝(50歳):会社と家の往復の毎日で休みは掃除、洗濯などの家事と実家の母の通院や介護(要介護3で普段はコミニの里の小規模多機能でお世話になっている)をしている状況です。毎日忙しく過ごしていますがアースサポートの職員は皆とっても良い人たちばかりでケアマネの仕事はとっても楽しく感じています。アースサポートの訪問入浴と訪問介護同様これから宜しく願い致します



☆楠田さん、ご家族の写真ありがとうございました!(^o^)/

# ケアマネの輪

## 指定居宅介護支援事業所ぐる

島崎 幸子

ケアマネの皆さん、いつもお世話になってます。  
今回、原稿の依頼を受け、「何を書いたらいいのかな～」と考えながら、過ごしていたら、期日ギリギリになってしまいました。編集長 S さん、本当に、申し訳ありません。  
私は、ケアマネとして現場に立ってから今年で 5 年目、そして、この職場についてから 2 年目になるまだまだペーパーな未熟者です。いつも、研修会や勉強会に参加させていただくと「自分、まだまだだな～」とつくづく感じてしまいます。いろいろなケアマネさんの活躍ぶりを見せていただいたり、意見を交わしたりするのは、本当に勉強になりますし、刺激にもなっております。

さて、私のケアマネとしてのコンセプトについてお話いたします。いつも、仕事をする上で、心に繰り返し描く言葉があります。それは利用者さんの思いを受け止める居宅のケアマネとして、利用者さんが願う

「住み慣れたこの街で、この家で暮らしたい」という言葉です。それは、いつでも、私のケアマネとしての支援業務を支えている言葉です。居宅に暮らす誰もが、

当たり前にして、強く願っている本心であると受け止めています。私も、年配者の仲間入りになっていく昨今、ひしひしと感じている感覚です。（本当に、一年一年、物覚えは悪くなるし、体力は落ちてきますね…でも、我が家で暮らしていきたいという想いは変わらなのですよ！）ですから、この大切な思いを忘れることなく、できるところまで、チャレンジしていきたいと思っております。

苦手といえば、私にとってはいまだに苦手とする「パソコン操作」については、職場の仲間に迷惑をかけながら奮闘している毎日です。これからも、頻回な「誤字脱字」と戦いながら、頑張っていくことにいたしましょう。これからも、よろしく願いいたしますね！



### 連絡協議会からのお知らせ

- ★ **連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「入退会・変更届出書」の書式を活用して速やかに届け出てください。**
- ★メールアドレスの登録について、各事業所や会員へのメール配信については、今後それぞれの希望を確認した上での対応とさせていただきますので、**メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。**
- ★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、[ホームページ](#)から入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。  
(事務局 帯広市社会福祉協議会 金井)

### ＝編集後記＝

年の瀬ですが皆さんいかがお過ごしですか。皆さんのおかげで今年最後の通信を発行することができ感謝しております。

有名な書家の言葉で「一生青春、脂肪燃焼」と言うのがありますが来年はこの言葉を胸に秘めて頑張っていこうと思っています。

来年もよろしく御願い致します。

良いお年を。

編集長 S

